

『木彫フレート』

色の学習、レタリングの学習をした後、取り組みました。自分の名前か名字を浮彫りの技法で彫り上げ、やすりがけをし、着色・着彩・ニスぬりの塗装で仕上げています。



『タピボン』

毛糸と専用の針を使って、布の裏側から一針ずつ刺して布地を埋めていきます。すき間なく糸を刺していくことが難しい制作です。ミシン掛けと綿詰めも行いました。

『木彫 手鏡』

家紋について学習し、数学的な仕組みを見つけながら代表的な図柄を作図練習しました。気に入った家紋あるいは自分の家の家紋を調べ、浮き彫りで表現し、ていねいにやすりがけをした後、ワックスで磨き上げました。



『きつねのお面』

粘土で作った土台の上に、何重にも和紙を張り合わせて下地を作ります。作った下地に白粉を塗り、その上に顔の絵と色を付けました。根気と時間が必要な作品です。

『創作 和菓子』

季節感を大切にして新しい和菓子のデザインを考え、樹脂粘土で形に仕上げました。それぞれの菓銘も自分で考えました。

『スウェーデン刺繍』

布目を数えながら、布をすくって刺し進めます。慣れてきたら徐々に複雑な模様挑戦します。模様や糸の色に個性が光る作品となりました。

『立体感のある平面構成』

立体図法の学習をした後、色面の塗り分けやマスキング技法を使って仕上げました。画面の中には『自分』という存在が何らかの形で表現されています。



『名画の模写』

名画の作品を題材に、「格子変換」（マス目を対照させて下絵を描いていく方法）の技法を使い、色づくり、筆運びに気をつけて模写をしました。